

令和7年度 保健体育科（保健）学 習 指 導 案

単元(教材)	(ウ)生活習慣病などの予防と回復（現代社会と健康）		使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）
単元の目標	1 生活習慣病などの予防と回復について、理解することができるようにする。 2 生活習慣病などの予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できるようにする。 3 生活習慣病などの予防と回復において、自他の健康の保持増進や回復及びそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。		指導計画	1 生活習慣病の予防と回復・・・1時間 2 がんの原因と予防・・・1時間 3 がんの治療と回復・・・1時間 (本時) 4 運動と健康・・・1時間 5 食事と健康・・・1時間 6 休養・睡眠と健康・・・1時間
単元の評価規準	知識・技能	生活習慣病の予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		
	思考・判断・表現	生活習慣病の予防と回復について、それに関わる事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見するとともに、習得した知識を基に、自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。		
	主体的に学習に取り組む態度	生活習慣病などの予防と回復についての課題解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。		

本時の指導

主 題		がん患者と共に生きる社会を目指して		
本時の目標		がん患者と共生する社会を実現するための方策を考え、説明することができるようにする。		
評価規準		1 がん患者とのより良い接し方を理解し、課題の解決に向けて考えを深めている。(思考・判断・表現) 2 がん患者が暮らしやすい社会について理解し、その方策を具体的に他者に伝えている。(思考・判断・表現)		
指導過程	導入	学 習 活 動	時間	指導上の留意事項
		1 前時の学習内容を確認する。 2 本時の目標を確認する。	5	○がん患者の思いについて考えさせる。 ・ワークシート ・パソコン
	展開	1 「がん患者と共に生きる社会を実現するためにできること」についてまとめたことを班で発表する。 (1) 「身近にがん患者がいる場合どのように接していくか」発表する。 ア 親など身内の場合 イ 友人の場合 ウ 学校の先生の場合 エ 同じ職場の人の場合 (2) 実際に起こり得る場面を想定し、どのような行動をするか話し合う。 ア 家族からがんが見つかったと打ち明けられた場合 イ がんになった友人に初めて連絡を取る場合 ウ がん患者である学校の先生が授業中に疲れた様子を見せている場合 エ 同じ職場の人が職場復帰し最初に出勤してきた場合 (3) 外部講師からの指導 (4) 「がん患者が職場復帰しやすい社会をつくるためにどのような取組をすればよいか」発表する。 ア 法律の整備 イ 病院における取組 ウ 地域における取組 エ 職場における取組 (5) 実際に自分ががんになったときに、どのような制度、職場環境であれば、職場復帰しやすいかを話し合う。 (6) 外部講師からの指導	10 5 5 10 5 5	○クラスメイトの中に身近にがん患者がいる可能性があることに配慮をさせる。 ○がん患者の思いに寄り添った内容を考えさせる。 【予想される生徒の反応】 ・差別しない、偏見を持たない ・がんのことについて触れない ・家事などのサポート ○他の班の発表を聞いて、他者の考え方を尊重することの大切さに気付かせる。 ○実生活においてどのように行動するかを考えさせる。 【予想される生徒の反応】 ・家事を手伝ったりする ・今までどおりの接し方をする ・授業中にいすを用意したりする ・実行可能な仕事内容を確認する ○がん患者が職場復帰しやすい社会の在り方について考えさせる。 【予想される生徒の反応】 ・がん患者が職場復帰することについて法律を定める ・がん患者が相談できる窓口をつくる ・仕事をしながら治療ができる職場での制度をつくる ○自分たちが職場復帰しやすい社会環境について考えさせる。 【予想される生徒の反応】 ・休暇制度の充実 ・フレックスタイム制の導入 ・体に負担の少ない治療法の確立
		1 本時のまとめをする。 2 次時の学習内容を確認する。	5	・ワークシート ・プロジェクター 【評価規準】 ○他者の意見を尊重しながら、自分にできる身近ながん患者との接し方について考えを深めている。(思考・判断・表現) 【評価方法】 ○ワークシートの記述を確認する。
				【評価規準】 ○がん患者が暮らしやすい職場環境の実現に向けて自分たちが考えた取組を表現している。(思考・判断・表現) 【評価方法】 ○ワークシートの記述内容を確認する。
	整理			【評価規準】 ○がん患者と共に生きるためにできることについて、学習したことを踏まえ、自分の考えを表現している。(思考・判断・表現) 【評価方法】 ○ワークシートの記述内容を確認する。